



プッシュプル換気装置 設置される

平成19年末に労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令（平成19年政令第375号）「化学物質による健康障害防止（医療現場におけるホルムアルデヒドについて）」等が公布又は公示されました。

病理診断部では、それに対応し、室内10箇所でホルムアルデヒド濃度の測定を実施しました。その結果、8箇所で作業環境測定法基準での管理濃度（0.1ppm）を大きく超過していました。ホルムアルデヒド測定濃度は、0.07ppm～9.9ppmと各部屋でばらつきがありましたが、この結果を受け、まず、切り出し室にプッシュプルを設置し、稼働中です。

12月21日に再度、切り出し室のホルムアルデヒド濃度を測定予定ですが、現場の私達からすると、ホルムアルデヒド臭気が、以前よりも明らかに軽減しているのを肌で感じています。

これから、剖検室・標本作製室にもプッシュプル換気装置の設置を強く要望していく考えです。



天井に設置された排気ダクト



ホルマリンタンクの両側にも設置



切り出し中

ホルマリンは有毒なので取り扱いには十分気をつけてください。
 なお、ホルマリンタンクのコックは、使用後は漏洩しないようにきちんと締めてください。

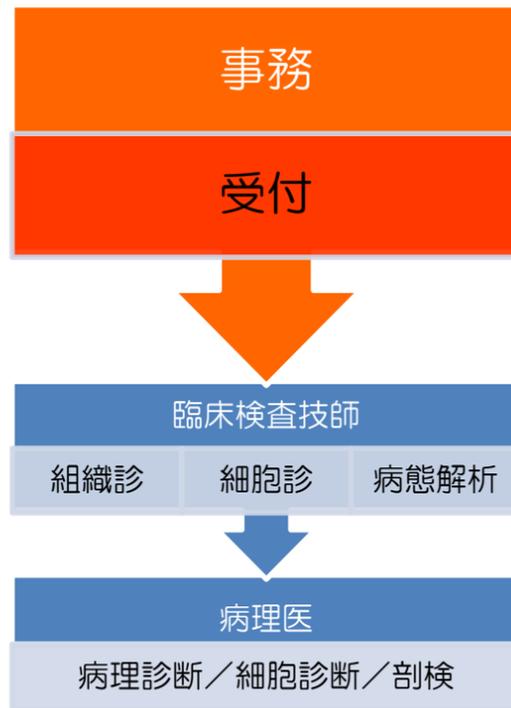
年末年始の受付業務案内

| | | | | | | | | |
|------------|---|-----------|-----------|-----------|------------|----------|----------|----------|
| | 12/28 (月) | 29 (火) | 30 (水) | 31 (木) | 1/1 (金) | 2 (土) | 3 (日) | 4 (月) |
| 剖 検 | 受付時間 8:30~17:15 (内線 2257 or PHS 18218) | | | | | | | |
| 組織診 細胞診 | 休日体制で対応しますが、緊急で検体提出がある場合は、 剖検当番医 又は 当番検査技師に連絡を取ってから提出 して下さい | | | | | | | |

病理診断部の仕事の流れ ① < 受付編 >

病理診断部では、病理医・臨床検査技師・技師・事務と多職種がひとつの目標に向け、日々、仕事を行っています。その目標とは、良い標本作製し、適切な診断をする。それが、患者さんに対する良い治療へとつながっていくと信じているからです。

このコーナーでは、患者さんから採取された検体の病理診断部での大まかな流れを示し、各部門の仕事について紹介します。今回は、受付編です。



受付の業務

- ◆受付時の確認
患者名、検体個数など
 - ◆受付検体に病理番号（標本番号）をつける
組織診（B）、細胞診（C）、術中迅速診断（F）、剖検（A）
 - ◆電話問い合わせの対応
 - ◆プレパラートの整理
 - ◆ブロック・プレパラートなどの貸し出し/返却の管理
- など



受付からのお願い

■病理組織検査申込書に必要事項をきちんと記入して下さい。
 特に **瓶/袋数** を必ず記入して下さい。

■瓶の蓋をしっかりと締め、ラベルをきちんと貼って下さい。
 ■検体が入っている瓶の**ピンクラベル**に必ず**ホルマリン**が**生か**で囲んでください。

病理組織診検査申込書

09

| | | |
|----------------------------|---------------------|------------------|
| 日 年 月 日 日生 歳 男 外来 | 検査検体 新鮮・ホルマリン・生食 | 感 染 症 |
| コメン | | 検体数 1 瓶 瓶/袋数 1 袋 |
| 今回の検査目的 診断 | | |



■肝移植および腎移植の至急扱いは、あらかじめ連絡してください。
 ■剖検承諾書には、遺族の **印鑑**または**拇印** を必ず押してください。
 不備の場合は剖検は行えません。

去る11月2日に、福嶋教授就任祝賀会が、高久学長、島田病院長をはじめ多数の御来席をいただき
 挙行されました。お忙しい中、御足労いただきありがとうございました。写真はHPでご覧下さい。